

タイトル: 英語テンプレート使用の時は英文のみ、  
日本語テンプレート使用の時は日本語・英語並記。

BL-15A2/2015G123

PF アクティビティレポート: ユーザーレポートについて  
PF Activity Report: Users' Report

筑波太郎<sup>1,\*</sup>, 桜咲<sup>2</sup>

著者名は姓名とも綴る

<sup>1</sup>放射光科学研究施設, 〒305-0801 つくば市大穂 1-1

<sup>2</sup>ERL 推進室, 〒305-0801 つくば市大穂 1-1

Taro Tsukuba<sup>1,\*</sup> and Saki Sakura<sup>2</sup>

<sup>1</sup>Photon Factory, 1-1 Oho, Tsukuba, 305-0801, Japan

<sup>2</sup>ERL Project Office, 1-1 Oho, Tsukuba, 305-0801, Japan

アブストラクトはオプションとします。レポートが長い場合等、必要に応じてこの部分に御記入ください。  
必要のない場合は消去して下さい。

### 1 はじめに

物質構造科学研究所・放射光科学研究施設 (Photon Factory) では、施設の活動報告集として毎年 Photon Factory Activity Report (PFACR) を発行して、PF の活動を広く国内外に紹介しています。

PFACR は、Part-A の Highlights and Facility Report と Part-B の Users' Reports の二部から成っています。このうち Part-B の Users' Reports はユーザーの皆様からのレポートをまとめたものですが、2014年6月の規則改定により、現在では終了届を兼ねるものとなっています。そのため、実験課題の有効期間中あるいはその後に、原則として一課題あたり少なくとも一報のユーザーレポートの提出が必要となっています。過去の PFACR にすでにレポートを提出している方は今回新たにレポートを提出していただく必要はありませんが、もし実験課題に関して新たな研究成果等がありましたら、再度の投稿をご検討いただけますと幸いです。

現在は、2015年度(2015年4月-2016年3月)のレポートを受け付けています。データの解析や解釈等に時間を要する場合もありますので、必ずしも2015年度の実験に限定せず、それ以前の実験結果の報告も受け付けています。

また、昨年度に引き続き日本語でのユーザーレポートも受け付けます。ユーザーレポートの原稿や電子ファイルの準備・投稿要領は、下記に掲載しておりますのでご覧ください。

[http://www2.kek.jp/imss/pf/science/publ/acr\\_submission.jp.html](http://www2.kek.jp/imss/pf/science/publ/acr_submission.jp.html)

ユーザーレポートは年間を通して、ほぼいつでも投稿可能です。投稿の準備が整い次第、速やかご投稿下さい。なお、年度毎にまとめるために毎年一回の締め切りを設定しています。

原稿提出の締め切り:

2016年7月1日(金)(JST)

締め切り後に投稿されたレポートは自動的に次の号に掲載されることとなります。

原稿を提出して戴くサイトにアクセスするとき user ID とパスワードが必要となります。それぞれ "acr2015"、"pf" と打ち込んでください。

表 1: ユーザー名とパスワード

UID	acr2015
PW	pf

### 2 実験

Photon Factory Activity Report には毎年出版物リストをつけています。これは PF で行われた研究を基に執筆された論文リストで、これまた PF の活動のバロメータでもあります。まだ登録されていない論文をお持ちの場合は、下記のサイトから登録して下さい。以前に出版されたものでも結構ですので、ぜひ登録をお願いします。

<http://www2.kek.jp/imss/pf/science/pubdb/>

### 3 結果および考察

PF アクティビティレポートは、今回で 33 号です。Part A は Highlights and Facility Report、Part B は Users' Report の二部構成となっています[1]。Part A は英語で出版されます。Part B は、印刷物無しのデジタル配信になっており、英語に加え日本語でも受け付けています。



図 1 : これは PF のロゴマークです。

図はカラー推奨。  
EPS形式の図を使用する場合は  
フォントを埋め込むか、文字を  
アウトライン化して文字化けしない  
ように注意する。

### 4 まとめ

皆様のレポートは PF の研究活動を計る重要な物差しであり、PF の支援ひいては皆様の研究環境の改善にも繋がる大切なものですので、この機会に是非ともご寄稿をよろしくお願いいたします。

### 謝辞 (オプション)

謝辞の項目はオプションとしますので必要がなければ消去下さい。このテンプレートは、過去に PF スタッフの方々がいろいろ作業して頂いた結果、出来たものです。ここに感謝致します[2]。

### 参考文献

[1] T. Tsukuba *et al.*, *Nature* **800**, 12 (2015).

[2] I. Oho and S. Sakura, *Phys. Rev. Lett.* **120**, 10101 (2015).

### 成果 (オプション)

1. 受賞、知的財産権、学会発表等、特筆すべきものがあればご記入下さい
2. 成果の項目はオプションとしますので必要がなければ消去下さい

\* pf-acr2015@kek.jp

連絡担当著者の電子メールアドレス

### 注意事項

- 1) pdf変換の際には文字化けを考慮し、フォントの埋め込みを行う。
- 2) 本文及び図の中で使用するフォントは可能な限りテンプレートの設定を使用。
- 3) ユーザーレポート1件の長さは最長6ページ。
- 4) ファイル名には日本語やスペースを使用しない。